

# 都会と地方それぞれにおける 貯蓄と社会保障への意識

2012年10月22日

第17回厚生政策セミナー

国立社会保障・人口問題研究所

第三室長暮石渉

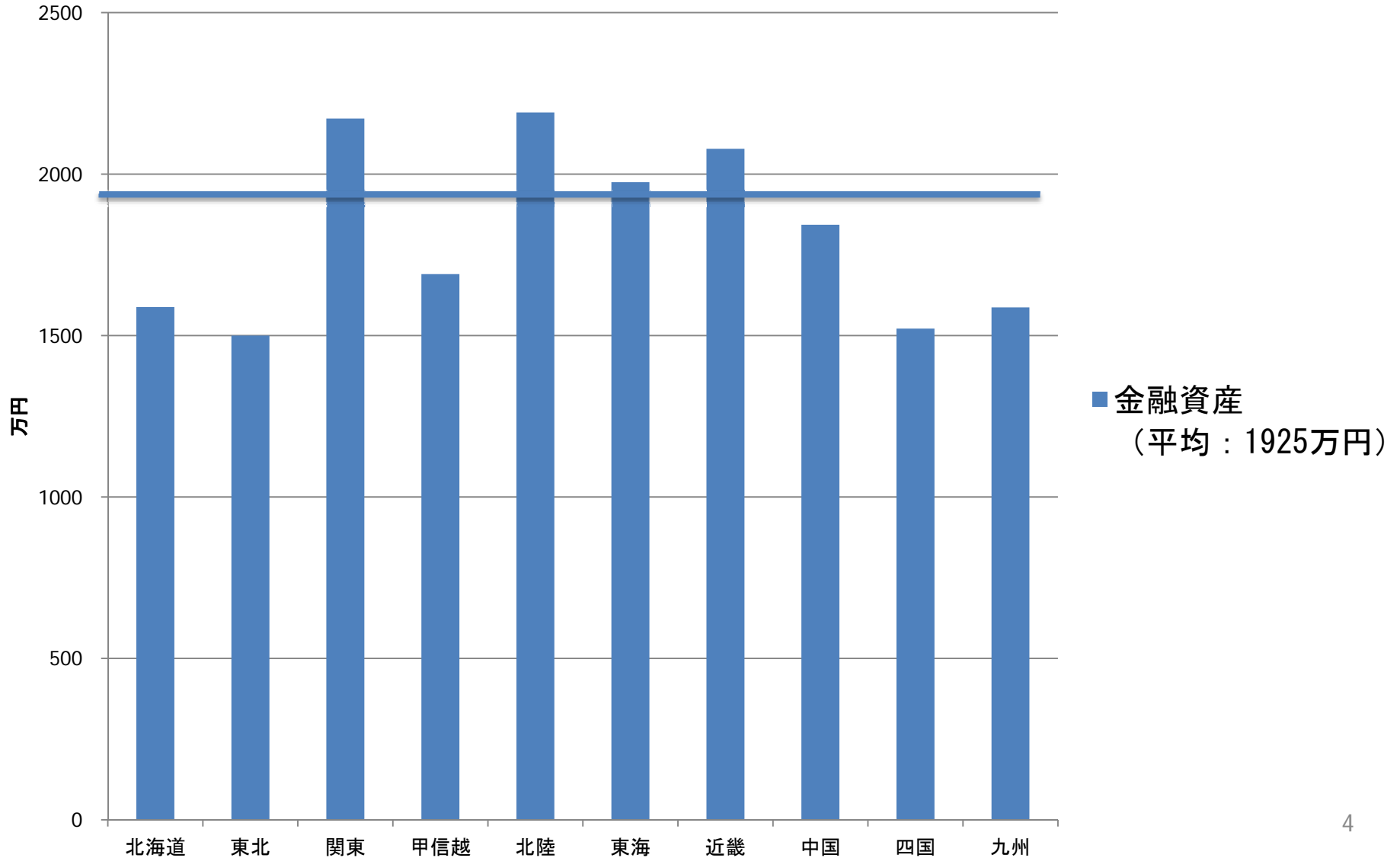
# 問題意識

- 地域や都市規模別にみて資産や貯蓄の状況はどうなっているのか？
- さらに、将来の生活に必要なだけの資産蓄積や貯蓄ができてしているのか？
- 自助や共助，社会保障への意識との関係はどうなっている？

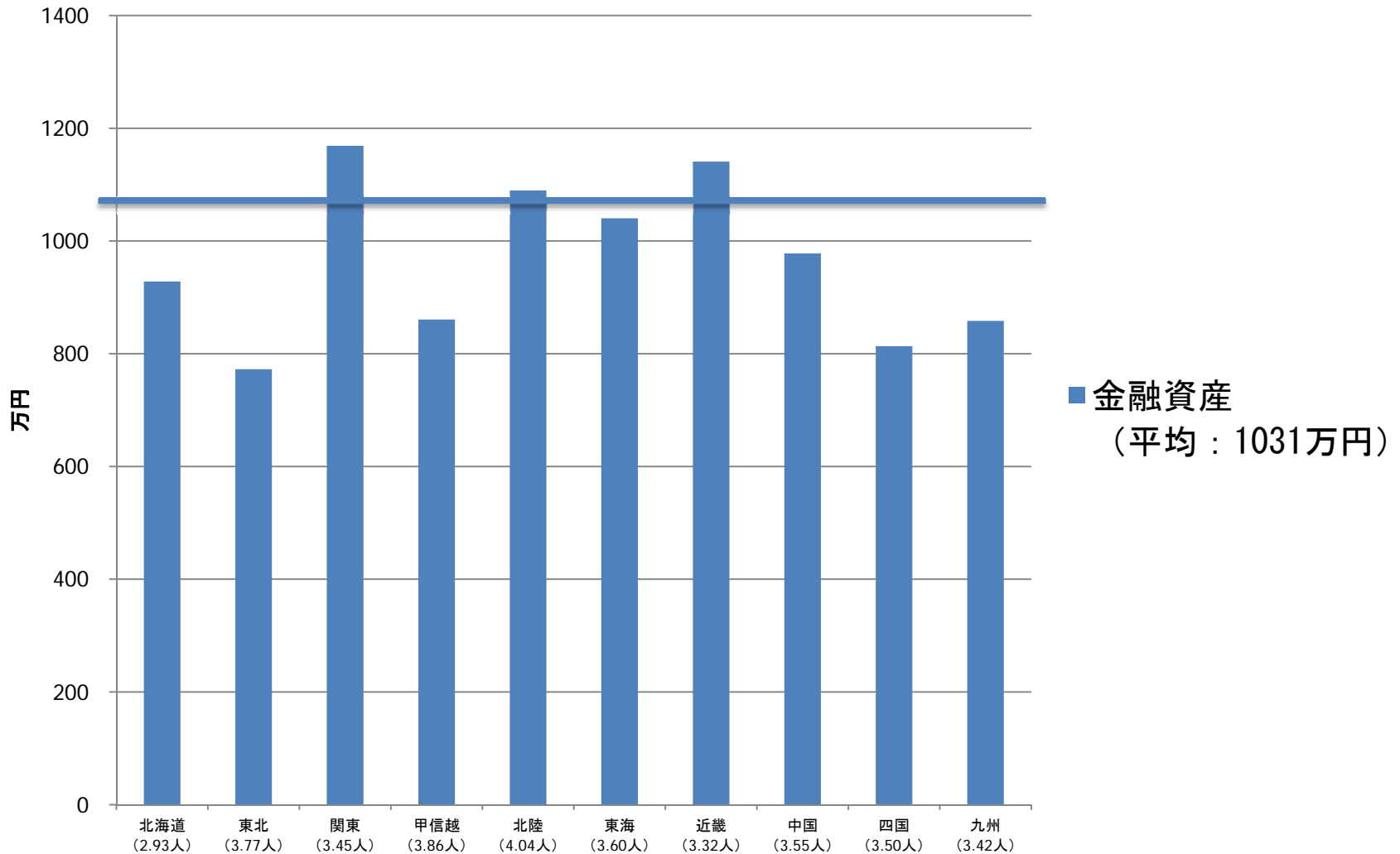
# 使用するデータ

- 暮らしと好みの満足度についてのアンケート調査
  - 大阪大学の21世紀COEとGCOEプロジェクト
  - 日本全国の男女20歳～69歳
  - 2008年，2009年，2010年を使用
    - 6,134から5,386の有効回収（87.8%）
  - 層化2段無作為抽出法，訪問留置記入依頼法
- 地域ブロック：
  - 北海道，東北，関東，甲信越，北陸，東海，近畿，中国，四国，九州
- 都市規模別：
  - 政令指定都市，10万人以上の市，未満の市，町村

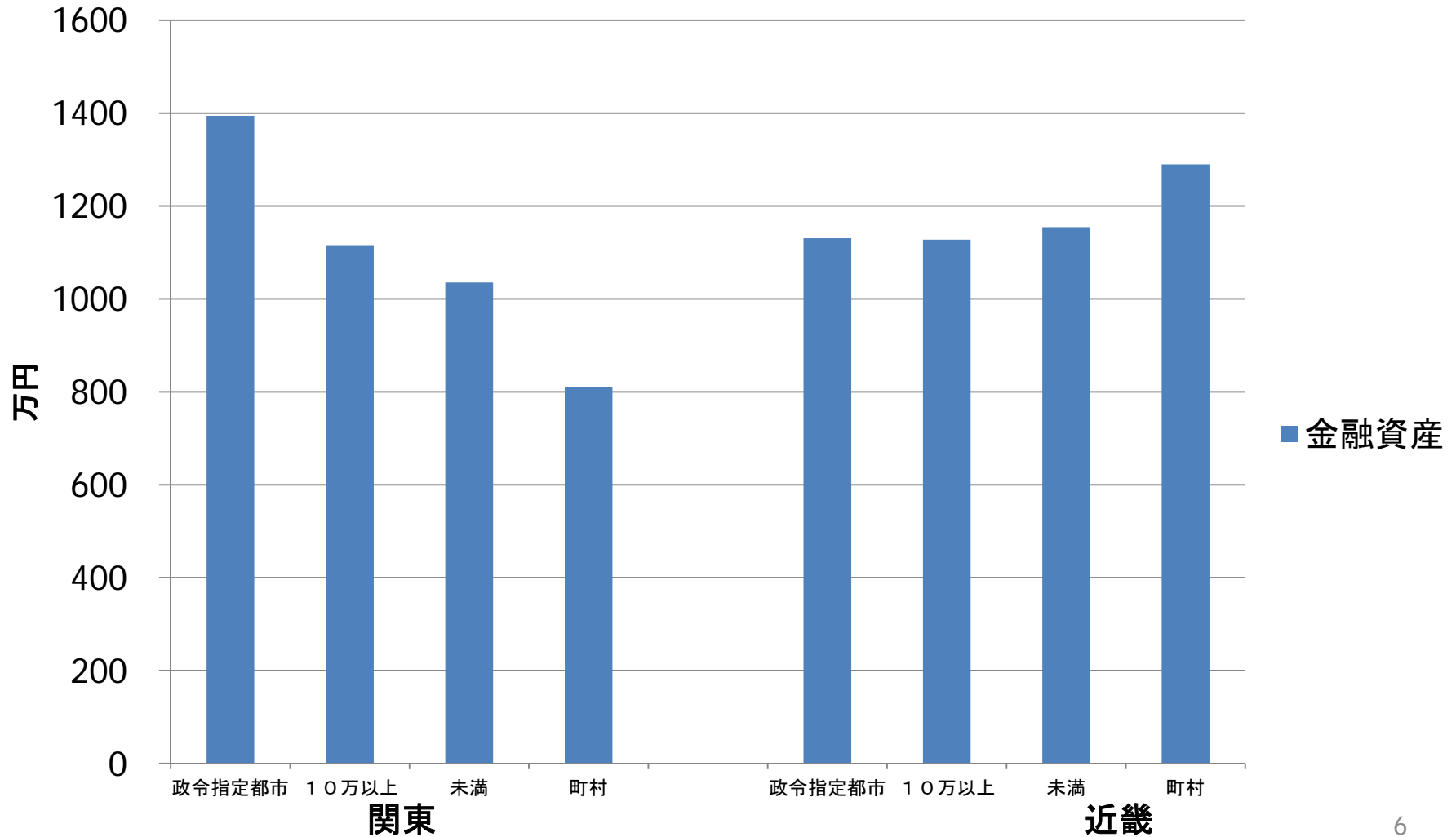
# 地域ブロック別の資産



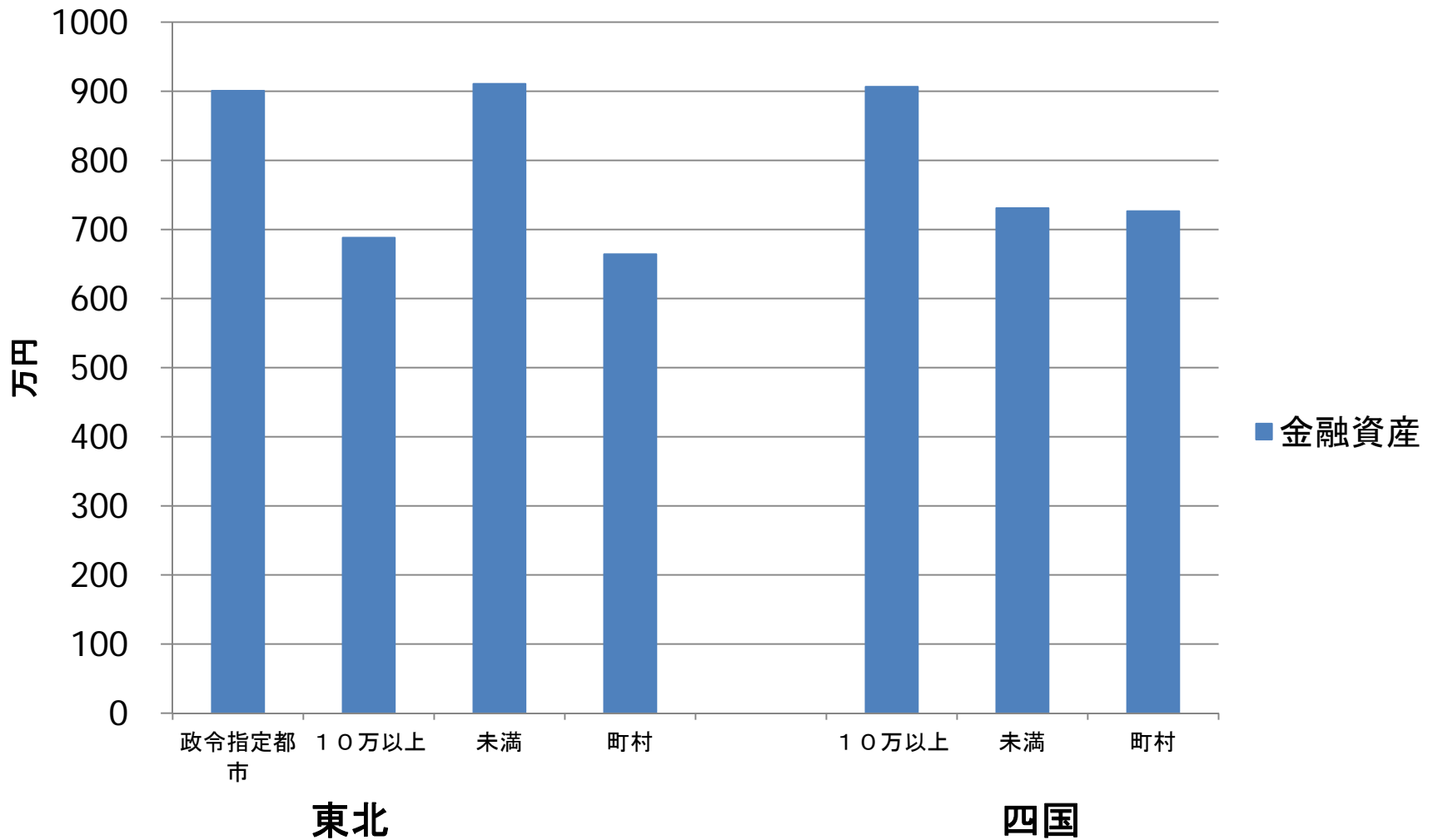
# 地域ブロック別の資産 (家族一人あたり)



# 地域ブロック別の資産 (家族一人あたり)



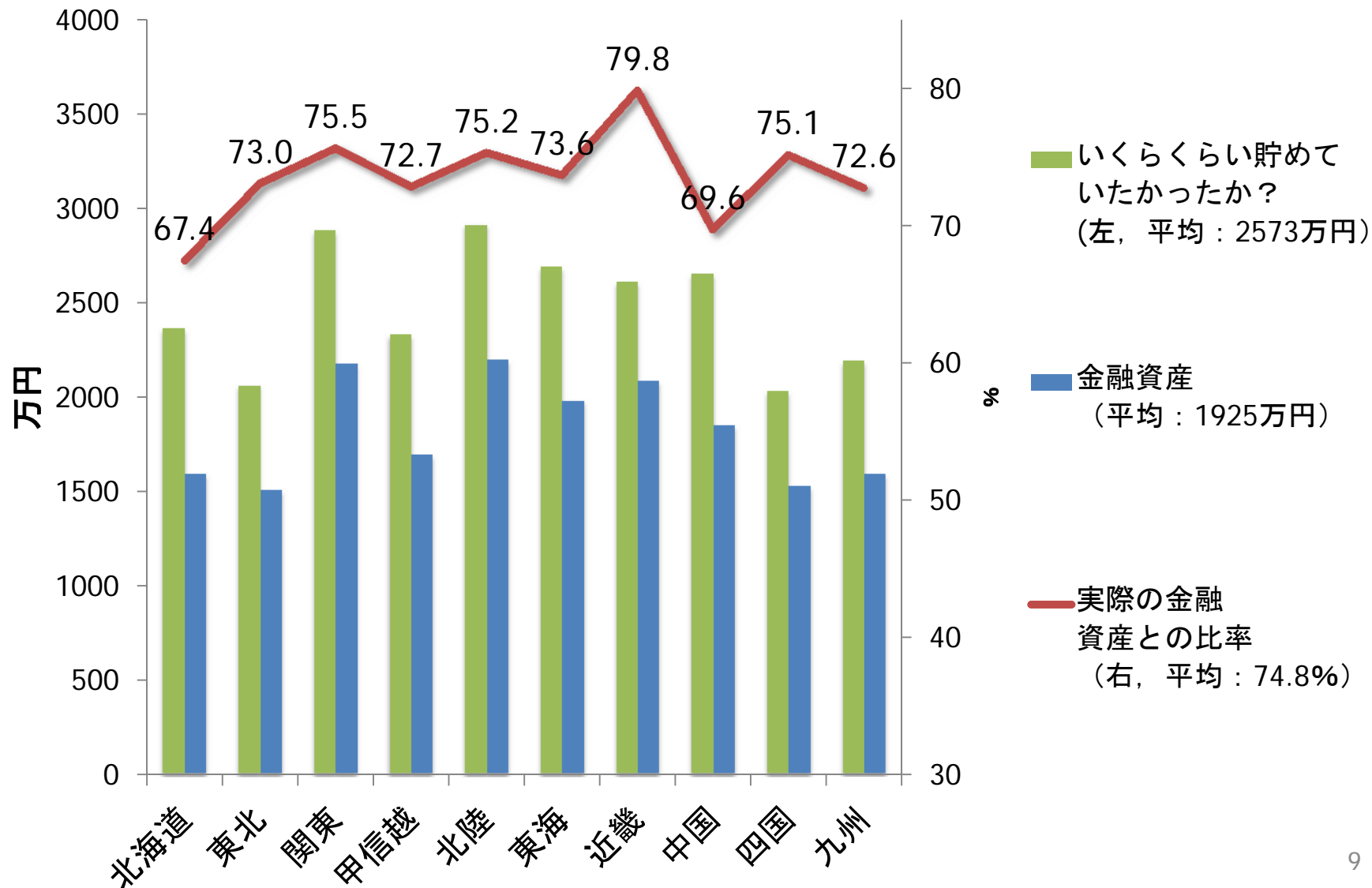
# 地域ブロック別の資産 (家族一人あたり)



- それでは、この資産は老後の生活に対して十分といえるのだろうか？
- 2009年度に、「世帯全体の金融資産残高として、いままでにいくらくらい貯めていたかったですか？」を聞いている。



# いままでにいくらくらい貯めていたか ったか？



# 意識に関する質問項目

- 人々の生活や助け合い，社会保障に関する意識との関係

1が「全く当てはまらない，完全に反対」

5が「ぴったり当てはまる，完全に賛成」

	平均	標準誤差
忙しくて先のことを考える余裕がない	2.59	0.98
現在の生活に精一杯で，ほとんど貯蓄ができない	3.24	1.22
将来のことは家族や親族が考えてくれている	2.15	1.06
自立できない貧しい人の面倒を見るのは政府の責任だ	3.13	1.03
本当は資格がなくても社会保障を受け取っても良い	2.20	1.04

# 貯蓄達成との相関

	相関係数			
	貯蓄の達成度合い (実際の金融資産額 ÷ 貯めていたかった額)			
	政令指 定都市	10万人以上	未満	町村
忙しくて先の ことを考える 余裕がない	0.27	-0.62	0.21	0.13
現在の生活に精 一杯で、ほとん ど貯蓄ができな い	0.38	0.01	0.31	-0.17
将来のことは家 族や親族が考え てくれている	0.31	0.68	0.60	-0.26

# 貯蓄達成との相関

	相関係数			
	貯蓄の達成度合い (実際の金融資産額 ÷ 貯めていたかった額)			
	政令指 定都市	10万人以 上	未満	町村
自立できない貧 しい人の面倒を 見るのは政府の 責任だ	0.16	0.32	-0.02	-0.13
本当は資格がな くても社会保障 を受け取っても 良い	-0.07	-0.27	-0.52	0.07

# まとめ

- 余裕がないほど忙しかったり，生活に精一杯だと，満足に貯蓄が行えなくなり，さらには，貯蓄の目標が低くなる.
- 親族や家族による共助があると，満足な貯蓄ができる.

# 謝辞

- 本研究は，大阪大学21世紀COEプロジェクト「アンケートと実験によるマクロ動学」及びグローバルCOEプロジェクト「人間行動と社会経済のダイナミクス」によって実施された「くらしの好みと満足度についてのアンケート」の結果を利用している.
- 本アンケート調査の作成に寄与された，筒井義郎，大竹文雄，池田新介の各氏に感謝する.